

2019年4月15日
発行

No. 64

カトリック大阪教会管区
カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

発行人 諏訪 榮治郎
編集 スタッフ一同

大船渡だより



地域のイベントや活動紹介

在宅訪問を行っています。

仮設住宅は役目を終えました。



震災の発生後、大船渡市内の私有地や民有地37ヶ所に、1801戸の応急仮設住宅が整備されました。ピーク時の平成23年11月には、1792戸で4531人が生活しました。

その後、自力再建や高台移転、災害公営住宅への転居が進み、入居世帯数が徐々に減少し、住宅の集約が進められ、仮設住宅は地ノ森、長洞の2か所のみが残っていました。入居世帯数は平成31年2月末で地ノ森5戸、長洞11戸にまで減少しました。市ではこの3月で仮設住宅の終了を決定。両仮設住宅では、全世帯の退去後、早ければ今年5月頃から撤去作業に入り、これで市内の全ての仮設住宅が無くなります。

これを受けて、市の応急仮設住宅支援協議会も解散。災害公営住宅での健康見守りや、コミュニティ支援のカリタス大船渡ベースの出番が多くなっていきそうです。新しい生活の場で、不安や孤独を感じている方々に寄り添い続けていきたいと思っています。

カリタス大船渡ベースの活動の1つである在宅訪問では、高齢独居の方や、日中独居の方、体調面に不安を感じていらっしゃる方等のお宅を訪問させて頂いています。皆さん、とても素敵な笑顔で迎えて下さり、「どうぞどうぞ。」と中に招き入れて下さいます。訪問時は体調面を伺ったり、お話を聞くことしかできない私達ですが、「訪問してくれることがとても嬉しくて、そろそろくる頃かな〜と思っていた。」と待っていて下さる方や、「今日初めて声を出した。」「久しぶりにこんなに笑った。」など、とても嬉しいお言葉を頂きます。

また、手芸の得意な方から作品の作り方を教わったりすることもあり、笑顔と楽しい会話が時間が経つのをつい忘れてしまうこともしばしば…。

震災前は全くお話をしたこともない、名前も知らなかった方々と知り合うことができたことに感謝し、皆さんのお元気で素敵な笑顔にお会いできることを願い、今後も訪問活動を続けていきたいと思ひます。



大船渡ベースの活動紹介

2019年3月1日~31日の活動紹介

※随時、ベースでお茶つこと在宅訪問をしています。

- 2日: ママサロン / 買物送迎 / 個人依頼 買物・灯油補充
- 6日: 買物送迎 / 平南アパート たこ焼き / 手芸サロン
- 7日: 所通東アパート お好み焼き / 個人依頼 灯油補充
- 8日: 外国人支援
- 9日: 買物送迎 / 個人依頼 灯油補充
- 11日: 被災地見学 12日: 被災地見学 / カリタスシネマ
- 13日: 買物送迎 / 手芸サロン / 個人依頼 灯油補充
- 14日: 上山東アパート お好み焼き / 被災地見学
- 15日: 歌っこのつどい
- 16日: 買物送迎 / 被災地見学 / 川原アパート 高校生とレク
下館下アパート 高校生とレク / 個人依頼 灯油補充
- 17日: 教会訪問 ミサと交流会
- 20日: 買物送迎、手芸サロン / 個人依頼 送迎 / 個人依頼 灯油補充
- 21日: 外国人支援
- 22日: たかたゆめキッチン
- 23日: 買物送迎 / 個人依頼 灯油補充
- 26日: 施設訪問 / 手芸のつどい
- 27日: ママサロン / 買物送迎 / 清水アパート たこ焼き / 手芸サロン
- 28日・29日: 外国人支援
- 30日: 買物送迎 / 抹茶サロン

地域と教会と交流しました！ ～八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校～

3月15日～17日に、八戸聖ウルスラ学院の中学生18名と、引率の先生2名がボランティア活動に参加しました。被災地への関心があって参加した、という生徒が多かったです。



午前中は震災当日の映像を視聴し、被災地見学をしました。午後は2グループに分かれ、災害公営住宅の集会所でイベントをしました。初めは緊張していましたが、レクリエーションをするうちに次第に打ち解け、楽しいひとときとなりました。

翌日は日曜日、大船渡教会でミサに与りました。ミサ後に、先生から学校紹介があり、生徒が校歌を披露しました。そして、教会の皆さんと一緒に聖歌『ごらんよ空の鳥』を歌いました。その歌声が聖堂いっぱいになり響きました。

その後、温かく迎えて下さった大船渡教会の方々と、昼食をとりながら交流しました。山浦先生からたくさんのお話を伺うこともでき、充実した訪問となりました。生徒達は、震災による想像以上の被害に驚いた様子でしたが、被災した方々の温かさに触れ、かえって元気を貰ったり、寄り添いの必要を感じていました。

笑顔がいっぱい♪『手芸サロン』

毎週水曜日に行われている手芸サロン。最近新しい参加者の方も増え、毎回笑い声の絶えない賑やかな集まりとなっています。「目が見えなくて細かい物は縫えなくなった。」「指先に力が入らないので固い生地は縫うのが大変になってきた。」など、昔は普通に出来たことが難しくなり切なく思うという声も聞かれますが、それでも皆さん手芸が好きで続けたい気持ちがあるので、毎回楽しみに参加して下さっています。出来ないと言いつつも、皆さんずっと手芸を続けていらした方々なので、初めて作るものでも、



すぐに手早く縫い進めていかれる様子を見て感心する事が多いです。

先日はスズメの親子をたくさん作って頂き、スタッフが作った巣に収めて、3月11日に東京で行われた東日本大震災復興祈念ミサで奉納させて頂きました。皆さんの優しい心がよく伝わる、温かい作品となりました。

←1つ1つ表情が違う、個性のあるスズメ達。赤く染まったほっぺもとても可愛い作品です♪



大船渡市の元中心地の様子 (2019/4/11 撮影)



ボランティア登録者数

男性 639人
女性 1293人
⇒合計 1932人

◆3月1日～3月31日
ボランティア数
男 性: 10名
女 性: 16名

ベースからの お知らせ

好評につき『東日本大震災応援ツアー2019』が開催されます。詳細は、ポスター、チラシ、大阪教区ホームページ、大船渡ベースホームページでご確認ください。

ボランティアさん 大募集中!

大船渡ベースでは、ベースのホールで開催する「サロン活動」が盛んです。お手伝いして下さるボランティアさん、大募集中です!

★「手芸サロン」「ちぎり絵教室」「折り紙教室」「英語でティータイム」「抹茶サロン」「歌っこのつどい」「ポッチャを楽しむ会」などなど。

※詳しくは、お気軽にベースにお問い合わせください。